

平成28年度第2回
 国立大学法人徳島大学・国立大学法人鳴門教育大学
 入札監視委員会会議議事概要

開催日及び場所	平成29年 3月 2日(木) 10:00 ~ 10:45 徳島大学本部棟1階 第1会議室A	
委員	委員長 大寺 健司 (公認会計士・税理士・行政書士・AFP) 委員 永本 能子 (弁護士) 委員 竹村 文宏 (徳島文理大学教授)	
審議対象期間	平成28年 4月 ~ 平成28年12月	
抽出案件(合計)	3件	(備考)
工 事(小計)	2件	今回の審議対象期間における再苦情の申し立ての審議依頼なし。
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	1件	
一般競争入札(上記工事を除く)	1件	
工事希望型競争入札	件	
通常指名競争入札	件	
随意契約	件	
設計・コンサルティング業務(小計)	1件	
公募型プロポーザル方式	件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	件	
標準型プロポーザル方式	件	
一般競争入札	件	
随意契約	件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>議題1. 入札監視委員会委員長の選出について</p> <p>委員の互選により、大寺委員が委員長に選出された。</p> <p>議題2. 平成28年度に契約した建設工事及び設計・コンサルティング業務について</p> <p>事務から、資料1～6により入札・契約手続きの状況について報告を行った。</p> <p>【意見等】 特になし</p> <p>続いて、抽出案件の審議を行った。</p> <p>①徳島大学（病院）旧外来診療棟とりこわしその他工事 入札方式等：一般競争、総合評価落札方式（標準型）</p> <p>事務から、資料7に基づき工事概要等の説明を行った。</p> <p>【意見等】 ・高額な工事だが入札が3者と少ない理由は何か。競争参加資格は適切であったか。 ・評価項目「工事全般の施工計画」の配点で差がついているが、提案がどう違っていたのか。</p> <p>②鳴門教育大学（高島）ライフライン再生Ⅰ（電気設備）工事 入札方式等：一般競争、総合評価落札方式（実績評価型）</p> <p>事務から、資料8に基づき工事概要等の説明を行った。</p> <p>【意見等】 ・評価項目「配置予定技術者の能力」の評価点が大きいが、妥当か。</p> <p>③徳島大学（病院）旧外来診療棟とりこわしその他（建築・設備）設計業務 入札方式等：簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>事務から、資料9に基づき工事概要等の説明を行った。</p>	<p>・参加資格の点数及び工事实績は事前調査を行った上で設定しており、適切だったと判断している。入札者が少ないのは、工期の長さ、また大規模なとりこわし工事の実績自体が少ないことが考えられる。 ・技術提案の内容が具体的であった等、相対的によりよい提案を高配点とした。今後はより分かり易い配点基準を検討したい。</p> <p>・文科省の指針や他大学の状況を参考に設定した。</p>

意見・質問	回答
<p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高落札率であるが、その理由は何か。 ・参加業者のうち県内に本社を置く業者は何社か。 <p>平成28年度の審議対象期間については、特に問題なく適切に処理されているとの審議結果である旨、本委員会において承認された。</p> <p>委員から、入札者を増やす努力をして欲しい、また総合評価落札方式の評価基準で実績偏重にならないよう考慮して欲しい旨付帯意見があった。</p> <p>事務から、来年1月末で満了となる委員の任期について、引き続きお受け頂くことを依頼し、全委員から内諾を得た。次回の開催を平成30年2月に予定していることを報告した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易公募型プロポーザル方式（拡大）については、各業者から提出された技術提案について、建設コンサルタント選定委員会において審議し、最も評価点の高い業者を選定し、その1社に対して見積合わせを行うシステムである。従って業者としてはできるだけ高額で落札することを目的に少しずつ見積額を下げるため高落札率となる傾向がある。 ・2社である。